４代目「今金橋」開通　～ 初代「今金橋」からの 120 年の歴史を繋ぐ ～



今金町が利別村であった明治 30 年。初代「今金橋」は、この年に始まった八雲今金線の道路工事により明治 33 年に架けられたと考えられております。当時の人々は、渡し船で川を往来しており、今金橋は明治時代において利別川を渡る唯一の橋であったため、人々の暮らしに欠かせない橋でした。

その後、昭和 16 年、35 年に新しく架け替えられ、令和２年 12 月 15 日、檜山振興局長、渡島総合振興局副局長、外崎町長及び工事関係者らが出席し４代目「今金橋」の竣工を祝い、渡橋式と渡り初めが行なわれました。









1 2
3 4

“新”「今金橋」は、基礎を強化した工法が用いられ、水害や地震に強い橋となりました。また、車道幅員は 7.5 ｍとなり、架け替え前と比べて 1.5 ｍ広がり、これまで以上に安全で快適に通行することができます。

1 渡し船の様子（昭和初期頃）
2 ２代目「今金橋」（昭和16年完成）
3 ３代目「今金橋」渡初め式（昭和35年）
4 ４代目「今金橋」渡橋式（令和２年）

集落支援通信　～集落はいま～その３

集落支援対策事業としてまず行ったことは、美利河・花石・中里・住吉地区を巡回し、各世帯からの聞き取りです。５月中旬から開始して、７月上旬にはほとんどの世帯を訪問することができました。４地区では高齢化率が 56％を超えており、70 歳以上の独居世帯が全世帯の約３割を占めている現状がありますが、聞き取りの結果、日常の買い物、通院、除雪等は自治会や近隣住民の支援もあり、あまり不便を感じてはいないこと、また、ほとんどの方は体が元気なうちは今後も今の地区に住み続けたいという意向があることがわかりました。今後はいかに今の健康を維持し、一日でも長くその地域で生活するか、つまり健康寿命の延伸が課題といえます。

聞き取り調査を終えて程なく、「地域連携事業に関する協定」を締結している札幌国際大学の先生から連絡があり、今年度においてもスポーツ関連学科の学生のリーダー育成プログラムを今金町において展開したいとの話がありました。地域課題に対応した実践的な問題解決の取組みという点において、今金町の上記の課題と合致したため、大学との協議により、今年度は住吉地区において「高齢・過疎集落における健康増進方策」を進めることとなりました。

新型コロナウイルスの影響で学生が現地に赴いての事業展開ができない状況が続いていますが、町職員が大学へ出向く等の対応により、学内における事前学習を終え、現在学生により高齢者向けのプログラムとして介護予防、転倒予防の運動メニューが考案されています。令和３年２月頃には成果として提案いただく予定で、その頃には新型コロナ感染症が落ち着き、学生が住吉地区を訪れ、住民と直接交流し、成果を伝えてもらえればと考えています。

（まちづくり推進課）



▲札幌国際大学で、今金町の概要を学生に説明する地域おこし協力隊

ＴＯＰＩＣＳにも掲載されております
gyousei/event/topics31/

認定こども園いまかね おゆうぎ会

11月28日、認定こども園いまかねにておゆうぎかいが行われました。年長児のきりん組では、26名の園児が劇「スイミー」と手話ソング「パラボラ」を披露しました。例年と異なり、保護者のみの観覧となりましたが、日頃の練習の成果を発揮し、かわいらしい姿で参加者を楽しませました。

最後の「おわりのことば」では、おゆうぎ会を観覧してくれた保護者へのお礼と、卒園まで4カ月、小学校入学を控えた園児達から今後の抱負を発表しました。



▲「スイミー」を演じる園児たち

ピリカスキー場安全祈願祭



12月4日、ピリカスキー場にて安全祈願祭が行われました。外崎町長をはじめ（株）TTNコーポレーション、スキー団体などの関係者約20名が出席し、今シーズンの安全なスキー場運営を祈願しました。



▲新設された「リフト予備電源装置」

今年度、同スキー場では、スポーツ振興くじ助成金（ｔｏｔｏ）を活用し、リフト予備原動装置の設置とセーフティバーの更新修繕を行いました。予備原動装置は停電等でリフトが停止した際に稼働し、短時間で乗客の救助が可能となるものです。

洋食マナー教室



12月6日、町民センターにて洋食マナー教室が開催されました。この教室は、今金中学校2年生を対象に平成26年から行われているもので、30名の生徒が出席しました。今年も渡辺正治氏（日本料理わたなべ店主）を講師に迎え、服装から食べ方までのテーブルマナーについて講話いただきました。

学生たちは実際に、町内飲食店から料理提供いただいた、肉料理、サラダやスープなどを緊張しながらも実践し、洋食を身近に楽しんだ1日となりました。



“ブックン”14年間ありがとう！



12月2日、移動図書館車“ブックン”の最後の運行が行われました。

“ブックン”は、平成18年12月から14年間、たくさんの方へ本の貸出を行い親しまれ続けてきましたが、この度、車両の老朽化に伴い廃車となる事となりました。

今後は、別の車両で移動図書が行なわれます。

“ブックン”の実績
運行期間：H18～R2
総 貸 出：43,683冊
総利用者：20,046人



▲最後の運行で、子どもたちが感謝のメッセージを書き込んでくれました

※上記の記事はホームページ・
http://www.town.imakane.lg.jp/